

鈴木としゆき

No.41

県政報告紙
発行・鈴木としゆき
鈴木としゆきだより
浜松市北區初生町162
☎053143918311

平成23年度は厳しい状況からのスタートでした。平成24年度は想定外にも対応した予算、施策に取り組んでまいります。

県政運営を5つの分野に重点化

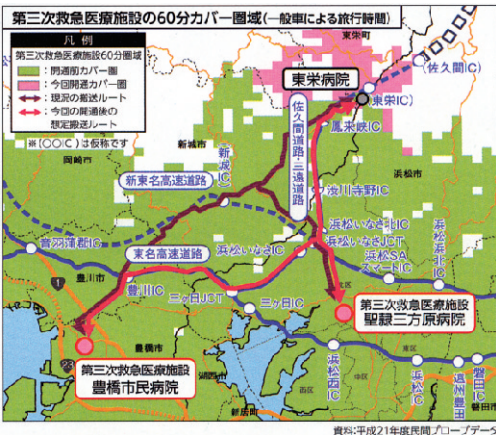
- ①雇用対策
 - ②少子化対策
 - ③地震・津波対策
 - ④エネルギーの地産地消の取り組み
 - ⑤内陸フロンティアの魅力ある地域づくり
- 平成24年度予算は1兆1,306億円で前年度0.2%減



▲三遠南信自動車道開通式



地域サービス・救命率の向上に資する“命の道”



《義務的経費》
 人件費が給与と改定の減などにより1.0%減、災害復旧費が平成23年度に発生した過年度災害の増などにより2.2%増となりました。

《投資的経費(主な事業)》
 ・草薙総合運動場リニューアル事業費(58億円)
 ・県立学校等施設整備事業費(36億円)
 ・防災行政無線デジタル化推進(35億円)
 ・介護保険関連施設整備事業費(31億円)
 ・大規模地震対策等総合支援事業費(27億円)
 ・安全・安心の道緊急対策事業費(25億円)
 ・緊急総合治水対策事業費(25億円)
 ・新規産業立地事業費 助成(16億円)
 ・東部地域都市拠点整備事業費推進費(15億円)
 ・また道路、河川、公園など県民に身近な生活環境整備事業費(250億円)を計上しました。

2006年にフィリピン、レイテ島タクロバンに建設をしました。平和の碑”(石川嘉延前知事書)に三回目の参拝をしてまいりました。この碑は戦後60年となる、平成18年1月、日比両国の永遠の平和と繁栄を祈念し、護国神社の宮司様御祈祷の下建設いたしました。この度は、神道政治連盟県内宮司18名様と自民党県議で参拝し3年に一度を目途に現地を訪問し、平和の尊さを再認識するためにも、今後も継続して慰霊祭をして



▲仲村秀子さんと ▲フィリピン経済区庁 デリマ長官



▲フィリピン視察



▲フィリピンレイテ島慰霊

きたいと思えます。レイテ島を選択したのは、静岡県出身者の戦没者が一番多いと言うことで碑を設立しました。そして、沖縄県出身の仲村秀子様と土地の管理をしていただいております。仲村さんも戦争中は日本人として大変苦労したそうであります。高齢のため足が不自由であります。娘さんが手伝って奇麗に管理して頂いております。この慰霊碑を計画実行して頂きました先輩県議も今は天国から見守る人となり、少しさびしいところもあります。我が国が現在あるのは戦没者の皆様があつてこそ日本国であります。戦争は二度と行つてはいけません、多くの先人の方々の命が今の日本国にながつているのであります。政治もコッコツと地味に仕事をつなげ進めるものであります。一気に飛び越える政治は、国民の不利益と考えます。